

大麻 エリア OASA AREA



陶芸体験

各窯元では、皿、湯呑等の作陶・絵付けといった陶芸体験ができ、人気です。
(要・予約) (別料金)



福寿醤油

創業文政9年の老舗。阿讃山脈から流れる豊かな伏流水を使い、大豆は粒が大きく甘みのある徳島産のものを厳選して、現在もこだわりの醤油を作りつづけています。

03 大麻町史跡探訪と 大谷焼の里 窯元・蔵&蔵めぐり

阿波神社、種蒔大師東林院を廻り、大谷焼の里の窯元をゆっくり探索し、松浦酒造・福寿醤油の蔵見学をします。

ご案内モデルコース 歩行距離 約5.6km (約3時間)



『阿波神社』へのアクセス

- JR鳴門駅から列車にて約15分「JR阿波大谷」下車、徒歩10分。
- 鳴門ICより車で約10分。
- 車の場合は、阿波神社駐車場を利用。

大谷焼の里

江戸時代後期、四国八十八箇所霊場巡礼に来た焼物細工師・文右衛門が、大谷村において作ったのがはじまりとされています。身の丈ほどもある甕や睡蓮鉢の大物陶器が有名で、平成15年に国の伝統的工芸品に指定されました。



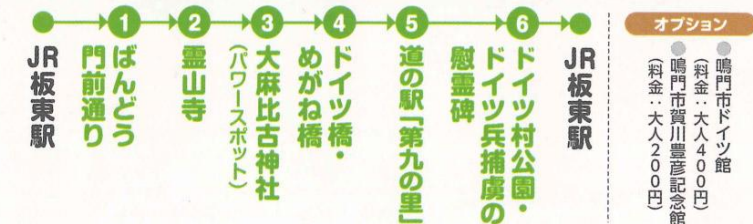
大麻比古神社

阿波一の宮として、県下一の社格を誇り、また「おおあざはん」の名で親しまれています。境内には、樹齢千年の大楠、ドイツ兵捕虜たちの手で造られた「ドイツ橋」などがあります。

04 門前通りおもてなしの街・板東と 鳴門市ドイツ館

板東駅から昭和の面影を残す「ばんどう門前通り」を散策しながら、四国八十八箇所霊場一番札所『靈山寺』へ。御参りをすませたあと、阿波の国一の宮『大麻比古神社』へ。その後、鳴門の物産品が揃う『道の駅・第九の里』に向かいます。すぐ横にはドイツ兵捕虜たちの活動や板東の人たちとの交流の様子を学べる『鳴門市ドイツ館』もあります。(ドイツ館前から路線バスで鳴門市街へ戻ることもできます) 俘虜収容所跡のドイツ村公園、慰霊碑、菩提樹の里、そして板東駅へ。

ご案内モデルコース 歩行距離 約6km (約3時間)



『JR板東駅』『靈山寺』へのアクセス

- 『JR板東駅』へはJR鳴門駅から列車にて約40分。(池谷駅にて乗換)
- 『靈山寺』へはJR鳴門駅から徳島バス大麻線にて約26分「靈山寺」下車。(1日に6本) または、鳴門ICより車で約15分、板野ICより車で約5分
- 車の場合は、靈山寺駐車場を利用。

ドイツ村公園

板東俘虜収容所跡はきれいに整備された公園になり、一部には収容所の築かれた当時のレンガが残されています。



靈山寺

“一番さん”の名前で親しまれ、一年中白装束に同行二人と書かれた菅笠をかぶったお遍路さんで賑わっている四国八十八箇所霊場一番札所。奈良時代に僧基が聖武天皇勅願の道場として開基したといわれています。